

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 10月

平成27年10月1日の推計人口 1,375,646人
世帯数 571,006世帯

参考：H22.10.1現在国勢調査総人口：1,426,779人、
世帯数：558,660世帯

1 推計人口

平成27年10月1日現在の推計人口は、
1,375,646人で、前月(1,375,743)に比べ97人の減少
となった。

市部では長崎市(203)、大村市(63)、佐世保市(2)
の3市で増加し、雲仙市(67)、諫早市(63)、西
海市(51)、五島市(48)、松浦市(38)、対馬市(
37)、南島原市(37)、島原市(36)、壱岐市(29)、
平戸市(22)の10市で減少した。

郡部においては、時津町(98)、波佐見町(19)、佐
々町(6)の3町で増加し、新上五島町(25)、長与町
(19)、東彼杵町(11)、小値賀町(3)、川棚町(
2)の5町で減少した。

自然動態は、出生数941人、死亡数1,256人で315
人の減少、社会動態は、転入者数3,663人(県内転
入を含む)、転出者数3,445人(県内転出を含む)
で、218人の増加となった。

2 世帯数

平成27年10月1日現在の世帯数は、571,006世
帯で前月(570,425)に比べ581世帯の増加となった。

(注)

異動人口推計 = H22国勢調査確定数 + 住民基本
台帳(転入、転出、出生、死亡)

本月分の推計人口は平成27年10月1日現在の
国勢調査人口等基本集計が公表されるまでの暫定値
である。

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】…8月

1人あたり現金給与総額 252,671円
対前月比 24.8%減少
対前年同月比 1.1%増加

1 賃金

8月の常用労働者1人当たりの賃金をみても
現金給与総額252,671円で、前月に比べ24.8
%減少し、前年同月に比べ1.1%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)
と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、
定期給与は249,117円で、前月に比べ0.7%増加
し、前年同月に比べ3.5%増加した。

特別給与額は3,554円で、前年同月に比べ、
5,737円減少した。

2 労働時間

8月の常用労働者1人当たりの労働時間をみても
総実労働時間は155.3時間で、前月に比べ
4.3%減少し、前年同月に比べ0.6%増加した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定
内労働時間は143.3時間で前月に比べ4.4%減
少し、前年同月と比べ0.2%増加した。

所定外労働時間数は12.0時間で、前月に比べ
3.2%減少し、前年同月に比べ5.0%増加した。

3 雇用

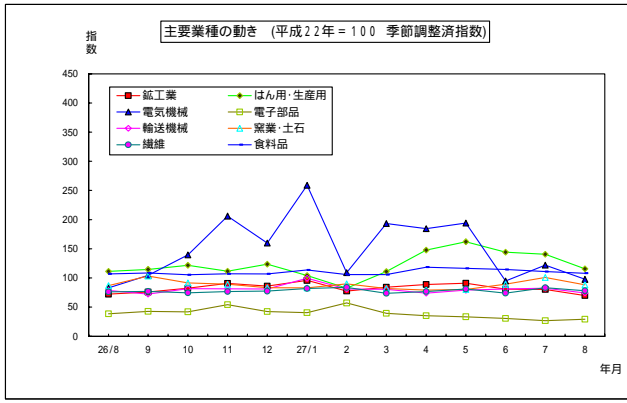
8月の常用労働者数は213,941人で、前月に比べ
0.2%減少し、前年同月に比べ1.2%減少した。

【鉱工業生産指数】……………8月

平成27年8月の鉱工業生産指数

(平成22年=100)

区 分	季 節 調整済 指 数	前月比	原 指 数	前年同 月 比
		(%)		
長 崎 県	70.0	12.8	75.1	1.7
九 州	97.8	5.2	92.4	0.5
全 国	96.3	1.2	88.9	0.4



平成27年8月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が70.0で前月比は12.8%の減、原指数は75.1で、対前年同月比は1.7%の減となった。

業種別みると、電子部品・デバイス工業など3業種が上昇し、電気機械工業、はん用・生産用機械工業、窯業・土石製品工業、輸送機械工業、繊維工業、食料品工業など10業種が低下した。

主な上昇業種

業種	前月比(%)	前年同月比(%)	上昇に寄与した主な品目
電子部品・デバイス工業	8.6	22.0	半導体集積回路

主な低下業種

業種	前月比(%)	前年同月比(%)	低下に寄与した主な品目
電気機械工業	19.9	26.4	交流電動機
はん用・生産用機械工業	17.8	1.2	ボイラー
窯業・土石製品工業	12.4	3.3	生コンクリート
輸送機械工業	9.9	4.4	修繕船
繊維工業	6.1	3.5	織物製外衣
食料品工業	2.5	2.2	アルコール

(注) 前月比は季節調整済指数の対前月増減率、前年同月比は原指数の対前年同月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】…………… 9月

総合指数(H22=100)	103.6
対前月比(%)	0.2
対前年同月比(%)	0.4

平成27年9月の長崎市の消費者物価総合指数は、平成22年を100として、103.6である。

前月比は、0.2%の上昇で、上昇要因は「食料」の+1.1%、「家具・家事用品」の+1.3%、「被服及び履物」の+6.1%であり、主な下落要因は「教養娯楽」の1.5%である。

前年同月比は、平成27年6月は+0.6%、7月は+0.6%、8月は+0.5%と推移した後、9月は0.4%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は103.2であり、前月比は同水準、前年同月比は0.2%の上昇であった。

(前月との比較)

上昇した費目

食料	+1.1%
住居	+0.2%
家具・家事用品	+1.3%
被服及び履物	+6.1%
保健医療	+0.9%

下落した費目

光熱・水道	1.3%
交通・通信	1.1%
教養娯楽	1.5%
諸雑費	0.1%

【家計(長崎市・勤労者世帯)】…… 9月

消費支出(一世帯当たり)	261,487円
前月比	252,501円(3.6%増)

平成27年9月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は261,487円で、前月比3.6%の増。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は90.6%であった。

主な支出内容	支出額(円)	前月比(%)
食料	76,046	9.5
住居	13,847	15.6
光熱・水道	19,243	5.9
交通・通信	28,122	2.0
教養娯楽	31,242	12.3

(注) この調査は全国調査のため、長崎市における調査世帯数が少なく、結果が大きく変動することがあります。「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。